

2022 年岡山大学学長選考  
次期学長に望むことアンケート 最終まとめ

2022 年 12 月 20 日

岡山大学職員組合

## アンケート実施情報

アンケート実施期間：2022年11月7日～12月5日

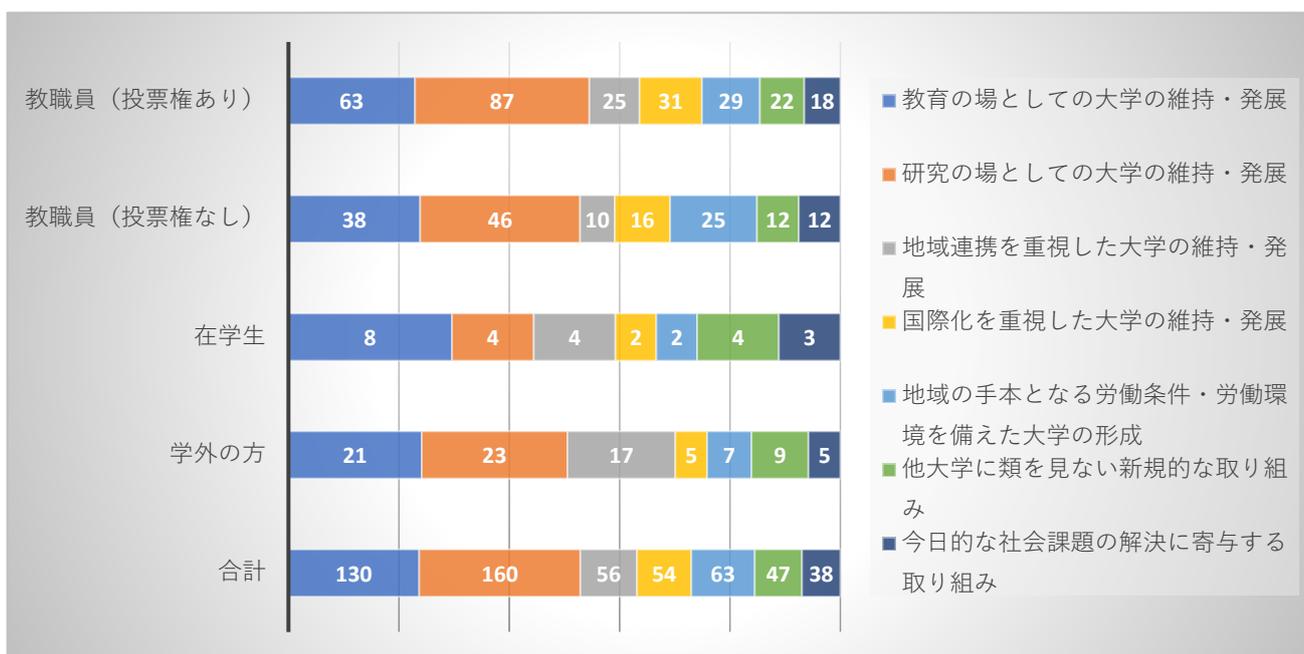
アンケート方法：Web アンケート (Google Form)

アンケート対象：岡山大学内外のみなさま

回答数：210 回答 (2022年12月6日 0:00 時点)

**Q1. これからの岡山大学の姿としてあなたが次期学長に望むことはなんですか？ 最大 3 つまで選んでください。**

210 件の回答



**Q2. これからの岡山大学の姿として次期学長に期待することを自由にお書きください。**

**岡山大学教職員（投票権あり）**

75 件の回答

1. 大学が一丸となって進むべき方向を大学全体にわかりやすく伝える力と推進力
2. 現場のことをよく理解し、絵に描いた餅で終わらないように公約したことは実現する。
3. 私的感情による大学運用に走ることのない人格高潔な方
4. 教育研究の場として、開かれた独善的ではない運営を行っていただきたい。
5. 閉塞感のない開かれた大学にしてほしい。現状のようなクローズドなところで物事が決まらない、決めない大学にしてほしい。
6. 教員の事務負担（特に学生雇用・謝金支払い関係）・書類作成・研修などの軽減、②大学院生の研究時間確保（教養やSDGs関係科目の授業準備や課題の負担が極めて大きく、自身の研究時間がとれないとの声を複数聞いています）
7. 部局の人事に過度に介入しない。
8. 学部の権限の強化、人文社会科学系分野への配慮
9. 人事の原則を確立し、恣意的な人事をしない総務担当理事を選ぶこと
10. 学生、教職員の意見が広く収集され反映される大学
11. 10年先を見据えた改革を断行しないと、おそらく岡山大学は消滅します。痛みある改革も含め、頑張っている人が日の目を見られるようお願いします。
12. 教職員が主体的に大学運営に関わり地域や国際社会と連携していくための前提条件として、まずは学内で真の意味での情報公開とそれに基づく開かれた対話の機会をつくることに努めていただくことを大いに期待します。岡山大学がこれまで試みてきたパフォーマンス的な「対話」や「D&I」や「アンケートの数々」は教職員だけでなく、学生からも冷ややかに見られています。既にマイナスからのスタートであるということをお肝に銘じていただき、更なるパフォーマンスを重ねることに猛進するのではなく、中身のある対話、意見徴収の有効活用、現状を正しく把握しメリット・デメリットを十分検証した上での変革等を期待いたします。パフォーマンス的な制度改革は百害あって一利なし。大学教育にとっても研究力の向上にとっても負荷にしかありません。よろしく願いいたします。
13. 経営が厳しいことは分るが国立大学法人として、あるべき姿を追求してほしい。教育面・研究面でも、労働環境・労働条件的にも「やっぱり岡大」と思われることは必要と考える。
14. さまざまな目標を掲げられると思いますが、その言葉の意味を学長が理解し、関連の活動と合わせてゴールを教職員・学生らと共有できた上で実行していただきたいと思います。例えば現在のSDGs推進のように表面的なパフォーマンスのみはとてむなし。学内何も変わっていません。SDGs推進は良い事です。だからこそ、SDG8「ディーセントワーク」や5「ジェンダー平等」など、教職員・学生らの要望を受けとめて実践してほしいと思います。大学のグローバル化も同じです。外国籍の教員数や学生数を目標にするだけの、表面的なパフォーマンスは時代遅れです。公正な採用過程や多様な人材が働き・学びやすいよう、グローバル化の内容を充実してください。
15. 学生だけでなく、教職員も大切に大学であってほしい。競争ばかりを促し、ぎすぎすした職場を作ることが、学生や地域にとって良いのか、新学長にはよく考えてほしい。
16. 国際的な研究、特に海外での調査研究を実施するための事務的な体制が整っていません。また、出張に関する事務手続きなど、極めてコストが高く、研究や教育に割かれるべき時間を奪っています。リスク・マネジメントばかりに気を取られてコストの増大に対する意識がおろそかになっているのではないのでしょうか。今後の大学の維持・発展のためには、限られた教職員の時間を生産的に使うためのコスト削減が必須であり、それが良好な勤務環境にもつながると思います。学長としてこうした改革を推進していただくことを期待します。

17. オープンアカデミア

18. 現状に甘んじる人や一部の声の大きな人に流されず、耐えずチャレンジし、変革を求める岡大であってほしい。そのために痛みがあっても頑張る教職員を引き上げる取組をしてほしい。岡大は国立大学で国からの運交金がある以上、国の取組に呼応することは必要だけれども、そこに岡大の独自性を出せる取組をもっとしてほしい。あと「全員と対話して納得のいく、賛成が得られる」などは、大学経営をするうえで現実的には無理なこと。対話賛成反対など、そういうことに時間を取られ過ぎて社会と時代に取り残されないようにしてほしい。自信を持って岡大の舵取りをし、頑張る教職員を惹きつける学長であってほしい。
19. 研究大学を標榜する岡大として、他大学に類を見ない新規的な取り組みをしてほしい。教育では広大ななどとの差別化が難しい。大多数の受験生の偏差値志向もそう簡単には変わらない。差別化と生き残りは研究力。県立大ではなく国立大という意識のもと、研究教員と教育教員を分けるなど、教員が研究に専念できる環境作りなどの思いきった大学改革を次の学長にはしてほしい。
20. 副業の許可
21. web 上での批判のない、風通しのよい、学内外から評価される大学運営
22. 近年、津島キャンパスは夜は全く活気がなく、有力大学と比較して、終バスは 20 時程度と早い、飲食店も少ない、また学内のコンビニも営業していないなど、学生が研究室に入り浸れる環境からほど遠いです。このような環境では、夜遅くまで多くの学生が能動的に研究を行っている有力大学に比べて、必然的に研究アクティビティが下がります。研究担当理事をされている那須次期学長には、世界に伍する研究大学として、ぜひ、夜間の研究環境の改善、大学としての研究環境のボトムアップをお願いいたします。
23. 外国人教員、女性教員の積極的雇用による国際化教育、ジェンダーフリーな職場環境の整備
24. 広い視野、長期的な視点で、この時代の地方国立大学の舵取りを成功させて頂きたい。
25. このご時世研究大学を目指さないと生き残れない。ポテンシャルはあるのに全然発揮できていないと外から来た人間からは見えてしまう。そのためには強烈なリーダーシップで流血を辞さずにドラステイックな変化を望む。
26. 理工系の学部が複数ありますがこれらに対してはある程度公平にサポートしてほしいです。これまではかなり偏りがあったように感じます。
27. 民主的な運営。部局の選考結果を恣意的に逆転させない。
28. 投票で 20%以上差のついた 2 位の候補が当選することのない、民主主義を重んじる組織への転換
29. 文系部局を解体しないこと。医学部の特殊事情を安易に一般化した改革をおこなわないこと。学費無償化をするつもりもないのに SDGs にコミットしないこと（あるいは、第 4 項目を推進することと学費をとることの整合性を示すこと）。
30. 独自性の高い研究を創出する機関
31. 学部の意向・事情を無視した強権的な人事への介入をしないこと
32. 大学上層部による運営の透明性
33. 研究力の徹底的向上、抜きん出た研究者の招聘、知識を得るための大学ではなく、経験・体験を与える大学へのシフト(授業のオンデマンド化、その分、実習、体験学習の増加)、研究申請手続きの簡素化(動物、遺伝子組み換えなど)
34. SDGs やグローバル化など、政治的な産物のキャッチコピーに踊らされて余計なことをせず、普通の研究と教育の時間を確保してほしい。会議や事務手続き等をなるべく簡素化して、たくさんある無駄を省いてほしい。
35. 革新性
36. 現場の意見に耳を傾け、学生を第一に考えた大学運営を目指していただきたいです。

37. 研究・教育に専念できる環境作り。特に、書類・会議の簡略化、削減。特に出張手続きが煩雑すぎる。学会費・参加費などの関連費用も出張費で支払い可能にした方がリーズナブル（学生の学会費は、学会参加する時だけ支払われるといったルールとも合致する）。海外出張もなるべく手続きを簡素化してほしい。
38. 国際化が課題と言われて随分と時間が経ってきているが、全く進化も変化もなく、コロナ禍で凍結されたままの現状に不安しか覚えない。時期学長には国際化の強化はもとより、世界情勢や先進国の教育の方向性などをしっかりと理解した上での戦略を立てて取り組まれる事を切に願う。
39. 変な改革による書類仕事や体裁を整えるための仕事で現場の時間を奪わないでほしい
40. 当たり前のガバナンスの回復（これまでは意思決定のプロセスや根拠が不明なことが多かった）、②戦略性の高い大学運営、③医歯薬系における内部対立の沈静化と対外的なイメージダウンの回復
41. 会議負担削減に向けた検討が行われていますが、実際の負担軽減には未だつながっておらず、検討のための時間が負担増になっているようにも思えます。会議の削減につながることを期待しています。
42. 女性、若手研究者の数をその場しのぎで短期的に増やそうとするのではなく、産休や育休、保育施設や働き方の改善など、長期的な視点に立って働きやすい環境が持続するような取り組みを強く期待します。
43. 教職員一人一人が夢を描ける働きやすい大学づくり。絵に描いた餅のような改革や不毛な評価はやめて、地に足をつけた教育・研究を目指せる大学にしてほしい。
44. I wish Okayama University could increase a Global education inserting in its syllabus English lectures to jump to an immersion technique to learn a 2nd language, but also for the students to be prepared to the challenges of being able to be taught all their subjects in English so their minds will be open and be able to receive and exchange ideas and from international professionals.
45. 様々な考え・意見をうまく吸い上げて、うまく人材登用して、岡山大学 one team として仲良く進んで行っていただきたいです。お願いします。
46. 正規職員の数を増やしてほしい。
47. 大学を経営する仕事は責任が重く、一教員には理解できないほどご苦労が多いことと思いますが、教育にも研究にも何の意味があるかわからない仕事を多く課され、やる気を削られるように感じる場合があります。学生・教職員のためになるような大学運営を望んでいます。
48. 2点あります。1点目は、教員のダイバシティ人事の促進です。研究や教授会などの運営・管理において、日本だけに存在する従来の男社会特有の閉鎖的なものから、より広い見方を取り入れる多様性に富んだ体制に改革することが重要かと思います。最近では東大・東工大が女性の比率を増やそうと躍起になっているのも、従来の人事・入試制度を覆してまで多様性を重視することが伺えます。既存のWTT制度は大変成功していると考えますが、より高い職位に対してもダイバシティの考えを適用して頂くことを期待します。特に人事に関しては、従来の閉鎖的な考え方が横行しており、ボトムアップで改革することは困難です。大学主導で進めて頂くことを期待します。2点目は、学生や卒業生などのステークホルダーの岡山大への帰属意識の向上を期待します。既に岡山大学では広報やホームカミングデー等、学生にフューチャーした活動・イベントがあり、成果が上がっていることと思います。一方、卒業した学生の大半は、岡山を出て大都市圏に行ってしまう傾向があり、岡山大への意識は希薄になってしまいます。今後大学として生き残るためには、卒業生は重要なステークホルダーであることは明白です。従って、今後は、例えば岡山への大企業の誘致や大学の知の共有化による産業創生など、産学官一蓮托生の体制を築く必要があるかもしれません。また既存の知識・技術では長続きはしないので、知や技術の創成を支える基礎科学への投資も必要かと思います。
49. 意思決定プロセスの透明性
50. 地方の国立大学としての使命の遂行と将来を見据えた教育・研究の推進

51. 総務担当理事の適切な人選
52. 職員宿舎を教育研究の活性化に資する目的で保有すること。職員宿舎を地域との連携に資する目的で保有すること。
53. 岡山の方々に必要とされる大学
54. 勝手にトップダウンで決めてしまうのではなく、学生や職員とのコミュニケーションをもっと大事にしてほしいです。
55. 常識にとらわれない発想で、類を見ない魅力を打ち出してほしい。
56. 研究の場としての大学のさらなる発展を期待しています
57. 地域のウエルビーングとサステナビリティを実現する「学都構想」を期待します。これからの岡山大学の姿として、地域との連携や交流がダイナミックに行われ、構内や街中で日常的に見かけられるような、国内外のモデルとしての姿を誇りをもって見せていけたら、多くの皆さんに希望を感じてもらえるでしょう。例えば、構内では、既に学外利用されている図書館などに加え、カフェ・ショップ・ウエルネスの施設・公園など、0歳～100歳まであらゆる世代が集まる居心地の良い空間を提供できると、本学の学生、留学生、OB/OG、地域の方々のウエルビーングへの貢献、またそういった皆様に広く支えられたサステナビリティの高いキャンパス運営が見込まれると考えます。国内の大学ではまだこういったモデルは無いかもしれませんが、地方総合病院などにはこういった取り組みを成功させている例もありまして、大学としてのモデルケースの発信の参考にできると思います。
58. 改革という名の改悪（組織改組）をやめてほしい。これ以上何も変えずに過ごしてほしい。民間企業のような短期的視点で動くのを止めてほしい。大学は長期視点で運営される社会の公器だと考えます。何もしなければだめだという発想はもう古すぎると思います。
59. 科学とは何かの質問に答えられる院生の教育
60. 科学概念の進歩を岡山大学が一步進んでますので、それを活用してください。
61. 研究環境を整えて下さい。忙しすぎて、とても研究ができません。
62. 学生や教員の声を見ないアリバイ的な改革をやめてもらいたい。
63. 国の施策に対して NO をきちんと言える大学
64. 医学部目線のみではなく、広い視野からの開かれた大学運営を期待します。
65. 各部署の意見・意思の尊重。民主的手法による意思決定。
66. 少なくとも地域住民に愛される大学を目指してください
67. "人事の決定権を各部署に戻してほしい。
68. 教員交代の間に時間があると人事の予定がつきにくいので保留期間を撤廃してほしい。
69. 教員交代がスムーズできないため、留学先から戻ることができず、他大学に引き抜かれることも生じています。このような現実があることを知ってほしい。
70. 留学生を引き受ける部署を作してほしい。現在、問い合わせがあると、私費留学の場合は、すべて教室任せであるが、対応に時間を取られている。留学生をとる気が大学にあるのであれば、全体の入口を統一して、そのフィルターを抜けた学生のみを各部署に紹介するようになれば、こちらの時間もセーブできる。"
71. 教職員が希望をもち、大学の発展に寄与することの喜びを感じ、それに応じた処遇が得られる環境の構築
72. 文科省の方針と適度に距離を取って、長中期的な方向を考えて欲しい。
73. 医学部内、医歯薬総合研究科内で繰り返されてきた抗争を終息させて欲しい。
74. 学長選考の仕組みを変えて欲しいです。立候補には推薦人が必要ですが、人事権のある上の人から「推薦人として名前を書け」と、大勢の同僚がいる場で言われると下は断れないです。意向投票も同じで圧力がとても強いです。私もそうですが、先輩方を見ていると不本意に推薦人になっておられる先生

方がいました。「100人以上の推薦人がいます！」とか、数で競い合うことをして欲しくないです。規則で「推薦人は5名まで」とかにして欲しいです。こういう不本意なことがあるので、意向投票の最多票数が職員の意向とか思ってほしくないですし、学長を選んでほしくもないとも思います。今回、本当に鹿田で嫌な思いをした先生が多かったと思いますし、いまだにシヨリも残っていて、岡大のためになっていないと感じます。ぜひ学長選考の仕組みを変えて欲しいです。お願いします。

75. 改革のための改革、無意味な改革はもうやめていただきたいです。

## 岡山大学教職員（投票権なし）

36 件の回答

1. 現在の岡山大学（多くの国立大学もそうだが）ではトップダウンの体制が強化されて実際の現場の声が執行部に届きにくくなっている。現場の声を着実に反映した運営を行うことを期待する。
2. 岡山芸術交流の協賛者として、岡山大学が名を連ねていることがたいへん遺憾だった。セクシャルハラスメントの問題を起こしたプロデューサーを立てての運営に、市民に多くの憤りを与えた事業に対して、教育機関が賛同することがあってはならない。社会的責任をしっかりと踏まえることができるような次期学長を希望する。大学が、性暴力を容認するような事業の協賛になるようなことは、決して許されない。今回、市民からの岡山大学への信頼が失われてしまったケースであることを、次期学長は肝に銘じるべきだ。
3. 対話を大事にした大学運営
4. 文科省の言いなりになって、浮ついた国際化やカリキュラム改革に振り回されるのはもうやめましょう。しっかり足元を見て、職員のことを考えてください。
5. 中四国の中核を担う大学としての自覚を持ち、あらゆることで一段上を目指してもらいたい。
6. 頑張っている人が正当に評価されること。仕事に責任がちゃんと伴う組織になること。
7. 社会に順応した雇用環境（年金受給が70歳になろうかという今日で60歳定年制は早く、選択制にして欲しい）国際的にひらかれた大学（もっと留学をしやすい環境に）美しい教室とキャンパス（教室が今ひとつ美しいとはいえない）
8. 事務部人事の公平性、透明性の向上を切望いたします。現行の旧態依然とし、文科省からの移動官職さえも呆れ果てさせた、岡山大学人事課にメスを！どうか助けてください。
9. 教職員のエンゲージメントを高め、社会課題解決に貢献する大学に発展することを期待します。
10. 優秀な人材を大切にしてください。
11. 新医療研究開発センターの事務職員の増員と、教員の研究に割く時間の確保をおこなう制度
12. 独自性 他校との差別化
13. 大学病院の当直（夜当番）の次の日も普通に勤務があり、著しく労働基準法に違反してるかと思えます。仕事量が多く仕方がない部分もありますが働き方改革もあり翌日半休取れる様な労働体制の確立をお願いします。
14. 公平・公正な姿 脱・保守的思考
15. 若手研究者の雇用・研究環境の改善
16. 岡山大学教員にとって、教育と研究に打ち込める時間を十分にとれる労働環境を整備してほしい。会議を効率化して減らす、いたずらに申請書や報告書の作成を求めない、形骸化した不必要な教員評価をやめたり減らしたりする、などを実施することが重要である。岡山大学職員にとっては、とくに働きやすい環境の整備が大切です。しかし、各職員の特色や専門性を伸ばすような人事、配置を十分に考慮した労務管理をお願いしたい。大学として新規な取り組みはある程度必要かもしれないが、必ずしも教育研究に必要なではないが、評価を得たいがための取り組みは安易に行わないことを要望する。また、教員人事に関しては、あきらかに問題のある人事以外は、各部局の選考を尊重することを要望

する。予算の許す限り、キャンパスの自然環境の保護をしながら、更なる緑化を進めてほしい。

17. 国際化、Think global
18. 研究の駆動力となりうる優秀な大学院生を各地から呼び込む試みの強化
19. 大学のミッションは教育・研究を通じて社会に貢献する事です。それを教育・研究部門が認識する事は当然ですが、総務・人事・IT・施設管理などサポート部門の役割は非常に大きいと思います。各部門がミッションを果たすために何ができるか？何をすべきか？を考える時間を作ってはどうでしょう。
20. 教員や学生の研究する時間を増やすようにしてもらいたい。
21. 教員が資金の獲得にかなりの時間をかけていることが気になる。もう少し学生に丁寧な指導が出来る環境を整えて欲しい。
22. 権威やハラスメントに恐れず意見を述べることのできる安心・安全な職場風土の形成をお願いします。
23. 約 18 年間、与えられた役職において適正な待遇、対価が得られていない。
24. DX 推進
25. 学長選挙は意味がありますか？選挙結果が全く反映されていない情報しか伝わってきません。選挙結果が反映されない様な、学長選抜や教授選抜の不透明さを改善してもらいたい。
26. とにかく現場の声に耳を傾けてほしい（あまりに届かない、スルーされる、聞いてもらうこともかなわない。少数の人の例えば女性とか役職の低いものとか声が届かなすぎる）。外部研究費を高額獲得できる人が有能なのではなく、その人を支えている人たちがいて、研究が成り立っていることを分かってほしい。大学にしかできない、岡山という地にあるからこそできる社会的貢献や、特性について理解し、特色をいかして大学としての生き残りをかけるなり、発展できる道を開いていくなりしてほしい。一部の人ですべてが決まるのは民主主義でない。
27. 教員負担が大きいです。大学側が業績評価を一番に求めてくる割に、雑務が多いため、教員数や技術員（末端の研究室）の数を増やしていただきたいです。また、既得権益を持った年配者と若手の雇用形態に不満を持っています。具体的には、若手は任期付きが当たり前で、業績があっても雇用期間後に外部に異動しなくてはならないケースがある一方で、業績がまったくない年配者がろくに業績をあげずに在籍しています。若手のモチベーション低下と、今後の大学の競争力低下を危惧します。改善をお願いしたいです。
28. 非常勤職員でも長く働く人にとってよりよい労働条件になること
29. 「先端治療・臨床検査センター」が計画中止となったことにより生じた諸問題の説明と解決。（計画中止となった経緯の説明。今後の土地活用、検査機器の更新、賠償の有無などの解決策の説明）
30. 岡山の森林資源、木材産業を活かした木造建築の発展のために、寄付講座の教員として着任した者です。4年の有期ではありますが、岡山から日本に、世界に、発信できる木造建築の創出にチャレンジしております。是非、岡山大学での木造建築への取り組みについてご支援賜りたく存じます。どうぞ、よろしくお願いします。
31. 教職員満足度の高い職場環境作り。
32. 金澤先生が 341 票、那須先生が 272 票。まずこの結果を見ても那須先生御本人は自信を持って学長に選ばれた、と言えるのでしょうか。そうであれば、甚だ疑問です。また、どのような得票数であれば金澤先生もしくは舟橋先生が選挙される状況になったのでしょうか。民主主義国、ましてや国立大学でこのような事態は理解に苦しみます。
33. 予算の獲得
34. twitter や前学長の HP はご存知でしょうか。自身の選考過程やこれまでの教授、医学部長、病院長の選考過程における根拠を説明してほしい。

35. 岡山大学病院先端治療・臨床検査センターの再始動
36. The biggest issue that I regularly encounter is with graduate recruitment and financing. Many universities have complete packages that allow the best qualified students to undertake graduate research degrees without the burden of tuition fees. Okayama University has a system that allows for termly application for exemptions, which may or may not be granted. This creates uncertainty in prospective students' minds and often we lose excellent potential students to other universities that offer comprehensive packages. Once in the system at Okayama University, our students often feel demoralized by the uncertainty in their financial position.

### 岡山大学在學生

#### 7 件の回答

1. 部活動を頑張る生徒にもっと目を向けてほしい。部活の施設不備に悩む部活動が多数あります
2. 地域に開かれた大学の姿の推進。
3. 学生が親しみやすく、どの学生も学長先生のことを知っている！！というような環境になれる、学長先生がいいです。
4. 課外活動に対する理解、関心を高めてほしい。大会とテストの日程が被らない、被っても公欠ができる等々の対応。施設使用についての融通が効く状態にしてほしい
5. 地域に根差し、全員にオープンな大学
6. 部活動の活性化
7. 駐輪場の環境改善(収容可能台数の拡大、屋根の設置)、教室の机の大きさなどの設備改善

### 岡山大学学外の方

#### 17 件の回答

1. 教授、職員、学生、市民のできるだけフラットな関係を重視して、岡山の教育、多種にわたる研究を牽引して欲しい。透明度の高い運営をお願いします。
2. 他にない新しくワクワクする大学
3. 岡山大が岡山県の中心として様々な分野で地域の活性化やまちづくりに貢献する事業展開
4. 岡山大学を名実ともに向上していただけるような、地域貢献を中心とした取り組みをさらに発展させていきたいです。
5. 地域の中心部にある大学として、地域連携を強化してほしい
6. 学生が岡大を誇りに思える所にしてください（一般的な学歴や偏差値では表せない価値で）
7. 学生の学びの場作りと工夫
8. 世界各地の大学へ進学又は共学できるゲートウェイとなる事で日本の中の岡山大学から、世界の中の岡山大学へと成ることを目指してほしい。
9. 地域のハブとなるような地域連携を自治体だけではなく民間企業ともタイアップして行える姿を期待しています。
10. 自由に意見が言えて、皆んなで正しい議論が出来る場を作って貰いたい。
11. 近隣大学との統合
12. 学内だけを見ない、全国を意識した、しかも岡大の個性を生かした大学であるためにベストを尽くす事を期待します。
13. 国のプロジェクトに振り回されず、学問的関心に忠実に意欲をもって研究できる大学を目指し、それを保障する基盤的研究費の充実に努力する学長を期待します。教職員の声をよく聞いて、誇りをもって働きやすい職場を作ることに努力してほしい。

14. 図書館の充実が必要だと考えます
15. 不正のない、なぜ学長に選ばれたのか透明性の高い姿をみてみたい
16. 他大学に類を見ない新規取り組みとして、授業料を大幅に安くする。学生の経済的負担を軽くする。
17. 公平な人事、教職員の民意の反映

**Q2. これからの岡山大学の姿として次期学長に期待することを自由にお書きください。**

**テキストマイニング結果**

**次期学長に望むこと（自由記述）のテキストマイニング結果**

「次期学長に期待すること」アンケートの自由記述 132 件を KH Coder3. Beta. 05a を用いて分析した。その結果、総抽出語数 6,171 語、異なり語数 1,439 が抽出され、その内、分析対象になった語は 1,189 語だった。

抽出語を出現回数でリストアップすると、表の通りになる。「研究」や「学生」、職務や研究、勉学の「環境」、「教育」という語が上位を占めている。

回答者の属性（投票権のある教職員、投票権のない教職員、在学生、学外の方）によって記述がどのように異なるかを分析（共起関係にある語上位 80 に設定）した結果、図 3 のような共起ネットワークが認識された。

本学の「研究」に関する期待は、教職員（投票権の有無に関わらない）だけでなく学外の方からもあった。また、「環境」の「改善」に関して、教職員（投票権の有無に関わらない）と在学生から期待が寄せられており、「地域」に開かれた大学運営や地域貢献や今後の本学のあり様全般（「姿」）に関する期待は在学生と学外の方から多くあった。投票権の有無に関わらず、教職員が期待することは、教員の研究時間の確保や人事に関する改善だった。

**表 1 次期学長に望むこと（自由記述）の抽出語**

抽出語	出現回数	抽出語	出現回数
大学	71	人事	17
研究	52	運営	16
学生	28	期待	16
環境	22	教職員	16
教育	21	思う	16
教員	21	地域	15
学長	20	お願い	11
岡山大学	17	職員	11
改革	17	人	11
時間	17	考える	10

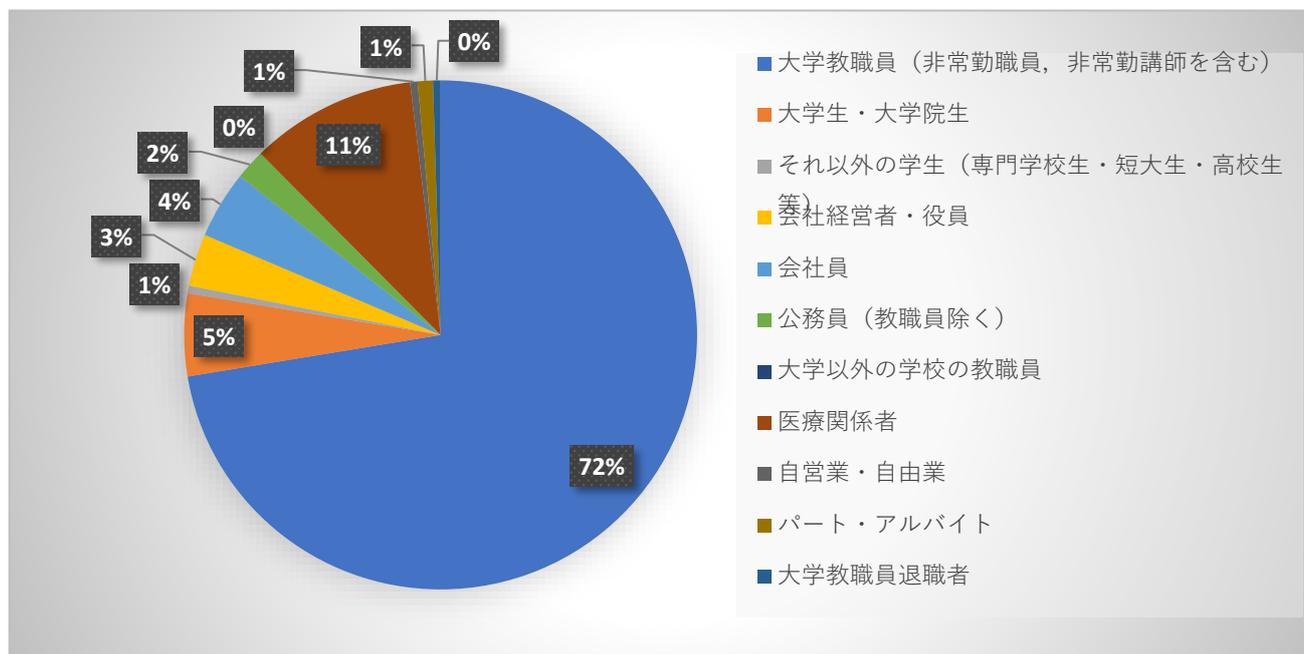
各属性別にみていくと、投票権のある教職員は、研究環境や教育環境の改善、大学運営に関する広い視野からの改革を期待しており、投票権のない教職員は、雇用や職員評価、労働環境といった職場環境を人本位に改善することや国際化に関する期待を寄せていた。在学生は、教室や駐輪場等の学内施設の改善や部活動（「活動」）への理解と支援を期待している。また、学外の方からは、大学運営に関わる様々な事項における高い透明性や公平性の確保、岡山大学としての様々な取り組み、地域連携、世界に向けた発信力、教育研究や学びの場づくりを期待する声が寄せられた。

教職員だけでなく在学生や学外の方々もかなり幅広く本学のことを見て、様々な期待を寄せられていることが印象に残る結果だった。期待は、それに応えようとするれば「応援」にもなり得るし、全く無視すれば「批判」にもなり得る。次期学長には多様な意見に耳を傾けて頂き、多くの期待に応えられるような大学運営を期待したい。



#### Q4. あなたのご職業を教えてください

210 件の回答



#### Q4. あなたの属性を教えてください。

4 分類にしたもの。

210 件の回答

